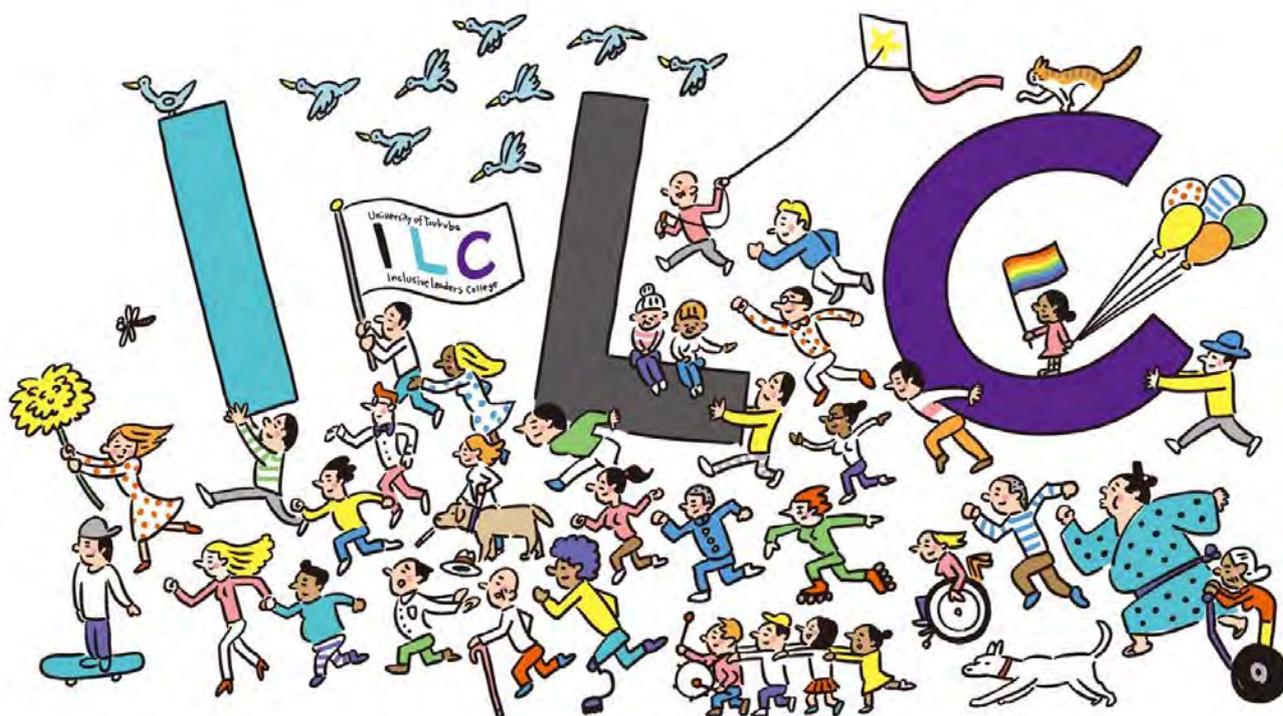


インクルーシブ ・リーダーズ・カレッジ

第3期

～ダイバーシティ時代の共創型リーダーシップを学ぶ～



2021年10月～2022年3月、全22日間。完全オンラインにて開講

本プログラムはeラーニングとウェビナーで構成され、全てオンラインで実施します。受講にはインターネット回線に接続したPCやタブレット、スマートフォンが必要となります。

- 受講対象者： 組織や業種を越えて協働・共創することを目指す方や課題を感じている方、ダイバーシティ&インクルージョンに関心のある方。
- 受講人数： 定員35名 先着順（最少開講人数：11名）
- 受講費用： 100,000円（税込）
- 申込方法： 筑波大学エクステンションプログラムHPより
(<http://extension.sec.tsukuba.ac.jp/archives/lecture-list/2071>)
- 申込締切： **2021年10月3日(日)まで**

本プログラム
特設ページへは
コチラから！

お申込み
お問い合わせ

筑波大学エクステンションプログラム事務局

<http://extension.sec.tsukuba.ac.jp> Tel: 029-859-1648 (月～金 9:30～17:00)



本プログラムの趣旨

本プログラムは、「筑波大学インクルーシブ・リーダーズ・カレッジ」と名付け、「Diversity / Inclusion / Trans-creation（多様・共生・共創）」をキーワードとして現代日本の喫緊の課題であるジェンダーや障害、多文化、世代に関する学びを得るとともに、それらの学びを通じて新しいリーダー人材を輩出することを目的としています。

本プログラムの開講にあたって

プログラム・リーダー



山口香
筑波大学体育系 教授
ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター 副センター長

新型コロナウイルス感染症の拡大は、私たちの日常を大きく変えました。

「ニューノーマル」という言葉に代表されるように、私たちは今、これまで以上に不確実な、新しい時代に生きることを余儀なくされています。そして、この時代のなかでは、「人の多様性」に関わる多くの課題が一層顕在化して、私たちの目の前に押し寄せてきています。

例えば、「女性活躍」や「LGBT」、「発達障害」や「障害者雇用」、「外国人労働者」や「国際化」、「Z世代」や「世代間格差」といったキーワードは、コロナ禍の中で一層解決が困難な課題として社会に残り続けています。しかし、私たちはこれらの課題の本質をどれだけ深く共有できているのでしょうか？「人」は本来あらゆる意味で「多様」な存在です。その表層のみをとらえていても、真の変化は生み出せません。私たちは「人の多様性」の本質をとらえる必要があるのです。

本プログラムでは、上記のキーワードを含む「性別（ジェンダー）」「障害」「多文化」「世代」の4つのテーマを踏まえ、構成されています。筑波大学が有する学術的知見から「人の多様性」を多角的に理解するとともに、先進的な取り組みを進めている企業・団体からの最新事例や話題提供に基づくディスカッション中心のプログラムを展開します。

いずれも産学官のダイバーシティ&インクルージョン分野の第一人者が登壇し、受講生と画面越しに「密」な時間を過ごします。これから社会はさらに多様化し、不確実性が増していくことは明らかです。そうした時代において新しい価値をともに創り出していく次代のリーダーシップを、本プログラムを通じて是非私たちとともに学びましょう。



井田仁康
筑波大学人間系長/教授

プログラムにより輩出を目指す人物像

ダイバーシティに関する柔軟な理解に基づき、インクルージョンの実現に向けたリーダーシップを発揮するとともに、多様性を価値に転換することで共創型の組織やイノベーションを創造することのできる人材。

1) 「人の多様性」への深い理解を有し、それを活かすことのできる人材

人々の特性や属性の違いを科学的、多角的視点から認識し、その違いを価値に転換することのできるリーダー人材

2) 横断的な叡智とネットワークを結集し、その価値を最大化できる人材

課題解決（イノベーション創出）に向けて、さまざまな分野と領域を超えて関係を構築し多様な価値を最大化できるリーダー人材

3) 「共創」を武器に、自ら未来を切り拓く人材

国際化と不確実性を前提とした次代において主体性と自律性を発揮することのできる新時代の共創型リーダー人材

本プログラムの受講対象者

企業や起業家等のビジネスセクター、行政や司法等の公共セクター、NPOやNGO等のソーシャルセクター、学校関係者等の教育セクター等々の幅広い領域の方の参加を歓迎します。特に人材開発・マネジメント、リスクマネジメント、新規商品・サービス企画、事業開発等の担当者の方のご参加をお待ちしています。



本プログラムの全体構造

本プログラムでは基礎から実践にまたがる全22回のプログラムにより、共創的な問題解決能力の養成を図ります。

【eラーニング】前提となる最低限の基礎知識の習得

eラーニング
(随時視聴)

eラーニング教材の視聴による各分野の基礎知識の習得

ジェンダー

障害

多文化

ジェネレーション

【ベーシック・セッション】

各1回

ウェビナー
形式

ダイバーシティ&インクルージョンに関する構造的・本質的な視点の獲得

インターセクショナルリティ
(交差性)

マジョリティと特権

法と人権

【アドバンスト・セッション】

アドバンスト・セッションでは、各テーマ領域の第一線で活躍する講師がセッション・オーガナイザーとしてプログラムのコーディネートを担当

各テーマのセッション・オーガナイザー

- 人事/人材マネジメント
梅田恵氏 (EY Japan株式会社Diversity & Inclusiveness担当ディレクター)
- 商品/サービス開発
伊藤義博氏 (電通ダイバーシティ・ラボ)
- 社会課題/ガバメント・リレーションズ
松中権氏 (NPO法人グッド・エイジング・エールズ代表/プライドハウス東京代表)

【フューチャー・セッション】

テーマ横断型
特別講義

全5回

デザイン、スポーツ、リーダーシップ、行政、テクノロジー等の切り口からダイバーシティ&インクルージョンを考える特別講義を予定

全9回

ウェビナー
形式

+

PBL
(問題解決
型学習)

各領域における
ダイバーシティ&インクルージョンに関するインプット

人事/人材マネジメント
(ピープル・マネジメント)

3回

商品/サービス開発
(インクルーシブ・マーケティング)

3回

社会課題/ガバメント・リレーションズ
(コレクティブ・インパクト)

3回

【ディスカッション・セッション】

全3回

受講生同士がセッションを通じて得た気づきやお互いの課題意識について対話を重ねることで洞察を深める

小グループ単位での
ディスカッション

小グループ
単位での
ディスカッション

総括演習
(受講生個々人のテーマ設定に基づくプレゼンテーション)

2回

- eラーニングは最低限の基礎知識の習得を目的としています。10月中に各自で視聴を終えることが目安です
- ベーシック/アドバンスト/フューチャー・セッションの各回については、映像収録した講義内容の提供等により欠席時のフォローアップを予定しています(全ての回ではありません。講師の都合等により対象外となる回があります)。
- 総括となる最後の2回(3月3日と10日)は受講生が各自で設定した課題についてプレゼンテーションとディスカッションを実施します。

カリキュラム詳細

本プログラムはeラーニングとウェビナーで構成され、全てオンラインで実施します。
受講にはインターネット回線に接続したPCやタブレット、スマートフォンが必要となります。

日時	プログラム	講師	講師
10月7日(木) 19:00~21:00	フューチャー・セッション①「キックオフ・セッション」	五十嵐浩也	筑波大学特命教授(ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター顧問・アントレプレナー教育担当)
10月14日(木) 19:00~21:00	ベーシック・セッション① 「インターセクショナルリティ(仮)」	ケイン樹里安氏	大阪市立大学都市文化研究センター研究員
10月18日(月) 19:00~21:00	ベーシック・セッション② 「マジョリティの特権(仮)」	出口真紀子氏	上智大学外国語学部英語学科教授
10月28日(木) 19:00~21:00	ベーシック・セッション③ 「法と人権(仮)」	土井香苗氏	国際人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ 日本代表
11月4日(木) 19:00~21:00	ディスカッション・セッション①	河野禎之	筑波大学人間系助教
11月11日(木) 19:00~21:00	フューチャー・セッション②	川村美穂氏	経済産業省 経済産業政策局 経済社会政策室長
11月18日(木) 19:00~21:00	アドバンスト・セッション「人事/人材マネジメント」①	塚原月子氏	株式会社カレイディスト代表取締役社長
11月25日(木) 19:00~21:00	アドバンスト・セッション「人事/人材マネジメント」②	寺原真希子氏	一般社団法人「Marriage For All Japan - 結婚の自由をすべての人に」 共同代表/弁護士
12月2日(木) 19:00~21:00	アドバンスト・セッション「人事/人材マネジメント」③	及川政志氏	日本アイ・ビー・エム株式会社 東京基礎研究所 アクセシビリティ・リサーチ
12月6日(月) 19:00~21:00	フューチャー・セッション③	山口香 ほか	筑波大学体育系教授/ダイバーシティ・アクセシビリティ・ キャリアセンター副センター長
12月13日(月) 19:00~21:00	フューチャー・セッション④	熊谷晋一郎氏	東京大学先端科学技術研究センター准教授 /東京大学バリアフリー支援室長
12月23日(木) 19:00~21:00	ディスカッション・セッション②	河野禎之	筑波大学人間系助教
1月6日(木) 19:00~21:00	アドバンスト・セッション「商品/サービス開発」①	星川安之太氏 三村一夫氏	公益財団法人 共用品推進機構 専務理事・事務局長 一般社団法人ユニバーサルコミュニケーションデザイン協会 事務局長
1月13日(木) 19:00~21:00	アドバンスト・セッション「商品/サービス開発」②	豊田出夢氏	元東京ディズニーシープロジェクト推進メンバー
1月20日(木) 19:00~21:00	アドバンスト・セッション「商品/サービス開発」③	志村真介氏	ダイアログ・イン・ザ・ダーク・ジャパン代表
1月27日(木) 19:00~21:00	ディスカッション・セッション③	河野禎之	筑波大学人間系助教
2月3日(木) 19:00~21:00	アドバンスト・セッション 「社会課題/ガバメント・リレーションズ」①	渡辺由美子氏	NPO法人キッズドア理事長
2月10日(木) 19:00~21:00	アドバンスト・セッション 「社会課題/ガバメント・リレーションズ」②	吉田雄人氏	(一社)日本GR協会 代表理事/前横須賀市長/ NPO法人なんとかなる 共同代表 /Glocal Government Relationz株式会社 代表取締役
2月17日(木) 19:00~21:00	アドバンスト・セッション 「社会課題/ガバメント・リレーションズ」③	松中権氏	NPO法人グッド・エイジング・エールズ 代表 /プライドハウス東京コンソーシアム 代表
2月21日(月) 19:00~21:00	フューチャー・セッション⑤	落合陽一	筑波大学図書館情報メディア系准教授 /デジタルネイチャー開発研究センター・センター長 /ピクシーダストテクノロジーズ(株) 代表取締役CEO
3月3日(木) 3月10日(木) 19:00~21:00	総括演習	河野禎之	筑波大学人間系助教

eラーニングプログラム

※eラーニングは筑波大学の動画配信システムを用いたオンデマンド形式(プログラム期間中に自由にアクセスして視聴する形式)で実施します。

ジェンダー	障害	多文化	世代
アンコンシャス・バイアスとD&I 河野禎之(筑波大学人間系助教)	障害と社会モデル 野呂文行(筑波大学人間教授)	多民族社会における共生 関根久雄(筑波大学人文社会系教授)	世代の変化と社会の変化 土井隆義(筑波大学人文社会系教授)
男女共同参画と ダイバーシティ推進の意義 河野禎之(筑波大学人間系助教)	これだけは知っておこう ~発達障害~ 佐々木銀河(筑波大学人間系准教授)	文化とコミュニケーション 木村周平(筑波大学人文社会系准教授)	現代の若者の心理と行動 佐藤有耕(筑波大学人間系教授)
女性活躍推進法と企業等の取組 梅田恵氏(EY Japan株式会社)	これだけは知っておこう ~視覚障害・聴覚障害・運動障害~ 野口代氏 (東大阪大学短期大学部 介護福祉学 助教)	日本人論~多文化日本~ 徳永智子(筑波大学人間系助教)	プロダクティブ・エイジング 河野禎之(筑波大学人間系助教)
性の多様性~LGBTの基礎~ 河野禎之(筑波大学人間系助教)	これだけは知っておこう ~障害者雇用~ 大村美保 (筑波大学人間系助教)	移民政策/外国人労働者と多文化共生 明石純一(筑波大学人文社会系准教授)	テクノロジーとエイジング 岡田誠氏 (富士通株式会社フィールド・イノベーション 本部 フィールド・イノベーター /一般社団法人 認知症フレンドリージャパン ・イニシアチブ 共同代表理事)
性の多様性 ~ホルモンから見た多様性~ 小川園子(筑波大学人間系教授)			

講師紹介

本プログラムでは筑波大学教員に加え、多彩なゲスト講師の参画により充実した学びを提供します。

フューチャー・セッション担当講師



落合陽一

筑波大図書館情報メディア系 准教授／デジタルネイチャー開発研究センター センター長
ピクシーダストテクノロジーズ（株） 代表取締役CEO

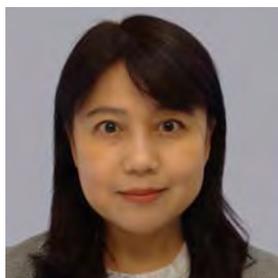
博士（学際情報学）。2015年東京大学博士課程修了、2015年より筑波大学図書館情報メディア系助教 デジタルネイチャー研究室主宰。2017年12月「デジタルネイチャー推進戦略研究基盤」代表・准教授として着任。2020年6月デジタルネイチャー開発研究センター・センター長就任。専門はCGH、HCI、VR、視覚聴覚触覚ディスプレイ、デジタルファブ리케이션。



熊谷晋一郎氏

東京大学先端科学技術研究センター 准教授／東京大学バリアフリー支援室長

1977年山口県生まれ。新生児仮死の後遺症で、脳性まひに。以後車いすでの生活となる。東京大学医学部医学科卒業後、千葉西病院小児科、埼玉医科大学小児心臓科での勤務、東京大学大学院医学系研究科博士課程での研究生生活を経て、現職。



川村美穂氏

経済産業省 経済産業政策局 経済社会政策室長

大学卒業後、通商産業省（当時）入省。2002年、2006年と二度の出産、育児休業の後、2015年資源エネルギー庁電力・ガス事業部ガス市場整備課、2017年大臣官房情報システム厚生課の後、2019年貿易経済協力局技術・人材協力課にて日本企業における高度外国人材の活躍推進を担当。2020年11月より現職。



山口香 プログラム・リーダー/アカデミック・アドバイザー

筑波大学体育系教授／ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター 副センター長

日本学術会議会員。東京都教育委員会委員。1984年の世界柔道選手権で日本の女子選手として初めて優勝。1988年ソウル五輪女子52キロ級で銅メダル。スポーツ全般の普及発展につとめるかたわら、ジェンダーを中心にダイバーシティ&インクルージョンの推進に向けた活動に取り組んでいる。



五十嵐浩也 アカデミック・アドバイザー

筑波大学特命教授

（ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター顧問・アントレプレナー教育担当）

大学（理工学部・機械工学科）卒業後、GK インダストリアルデザイン研究所、XEROX Palo Alto研究所を経て、筑波技術短期大学、筑波大学芸術系教授。ダイバーシティ・アクセシビリティ・キャリアセンター長・筑波大学執行役員ののち、現職。



ケイン樹里安氏

大阪市立大学都市文化研究センター研究員

大阪市立大学都市文化研究センター研究員、大学・専門学校非常勤講師。専門は社会学／文化研究。主な分野は、「ハーフ」や外国にもルーツをもつ人々の日常と日本社会のレイシズム。HAFU TALK（ハーフトーク）共同代表。著作に『ふれる社会学』（共編著、北樹出版、2019）など。



出口真紀子氏

上智大学外国語学部英語学科教授

ボストン・カレッジ 人文科学大学院心理学科博士課程修了。専門は文化心理学。文化変容のプロセスやマジョリティ・マイノリティの差別の心理について研究。監訳書に『真のダイバーシティをめざして』（上智大学出版／2017年）、共訳書に『世界を動かす変革の力』（明石書店）など。



土井香苗氏

国際人権NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ 日本代表

国際人権NGO「ヒューマン・ライツ・ウォッチ」日本代表。1998年東京大学法学部卒業。大学4年生の時、アフリカ・エリトリアにて1年間ボランティア。2008年から現職。日本外交を通じた世界各地の人権の保護・促進、そして、日本国内における人権問題の解決にむけて活動。2000-16年弁護士。

アドバンスト・セッション（セッション・オーガナイザー）



梅田恵

EY Japan株式会社 Diversity & Inclusiveness担当ディレクター

外資系IT企業で主に広報と人事でキャリアを積む。2008年からD&I専任担当者として、女性、障がい者、LGBT+、外国籍、ワークライフ、世代などのさまざまなプログラムの企画開発、運用をリード。大学やNPOと連携したD&Iプロジェクトにも複数参画。2019年にEY Japan入社。2020年から現職。



伊藤義博

電通ダイバーシティ・ラボ

2011年に電通ダイバーシティ・ラボを設立。クライアントの企業課題と社会課題の同時解決を目指すネットワーク型ソリューション開発ラボを運営。障害・ジェンダー・多文化・ジェネレーション領域における約20のプロジェクトの統括と推進を行う。



松中権

NPO法人グッド・エイジング・エールズ代表／プライドハウス東京代表

一橋大学法学部卒業後、株式会社電通に入社。2017年6月末からNPO専任代表に。LGBTQと社会をつなぐ場づくりを中心とした活動にくわえ、2020年を起点にしたプロジェクト「プライドハウス東京」等に取り組む。



小川園子

筑波大学人間系教授

専門は、行動神経科学・行動神経内分泌学。アメリカ合衆国コネチカット大学でPh.D.取得。1988年より同ロックフェラー大学において研究を推進した後、2004年より筑波大学教授として行動神経内分泌学研究室を主宰。脳に作用するホルモンの働きによる神経ネットワークの構築や適応的な社会行動表出の調節、さらにその個体（人）差の発現に関する研究を進め、ヒトの社会性行動や多様性の神経基盤の理解を目指している。



野呂文行

筑波大学人間系教授

専門は応用行動分析学。行動の諸原理を用いて、発達障害のある人やその関係者の問題解決に寄与する基礎的・実践的研究を専門としている。

現在、日本特殊教育学会理事長、日本行動分析学会理事を務めている。



徳永智子

筑波大学人間系助教

メリーランド大学大学院教育学研究科博士課程修了、Ph.D.（教育学）。専門は教育社会学、教育人類学。日米で移民の若者の居場所づくりやエンパワメントを目指した参加型アクションリサーチに取り組んでいる。主著にLearning to Belong in the World: An Ethnography of Asian American Girls（Springer, 2018年）。

プログラム・オーガナイザー



河野禎之

筑波大学人間系助教

筑波大学人間系助教／臨床心理士／公認心理師。近年、研究領域として「多様性社会」の実現に向けた新たな研究領域を模索し、特に「LGBTQ」と「認知症」をテーマに取り扱う。

筑波大学インクルーシブ・リーダーズ・カレッジの立ち上げを担う。

平成23年度日本老年精神医学会奨励賞、平成29年度筑波大学BEST FACULTY MEMBER受賞。

2021年10月～2022年3月、全22日間。完全オンラインにて開講。10月3日（日）まで申込受付中。

本プログラムはeラーニングとウェビナーで構成され、全てオンラインで実施します。受講にはインターネット回線に接続したPCやタブレット、スマートフォンが必要となります。

ウェビナーは、Zoomを用いたリアルタイム形式で実施します。また、必要に応じて使用するオンラインツールを別途案内する場合があります。Zoom及びオンラインツールの技術面（接続方法等）については原則として詳細なサポートはできませんのでご了承ください。

本プログラム
特設ページへは
コチラから！



お申込み
お問い合わせ

筑波大学エクステンションプログラム事務局

<http://extension.sec.tsukuba.ac.jp> Tel: 029-859-1648（月～金 9:30～17:00）